

21 世紀の生命を育む

はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



鼻血ブー

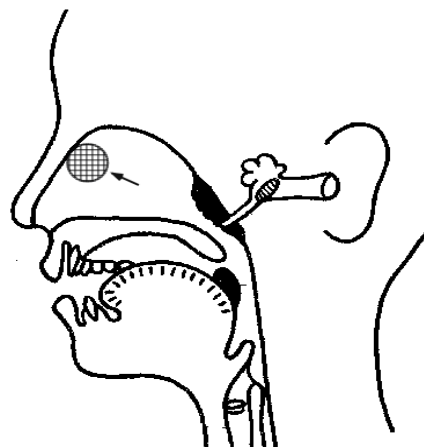


<なんで鼻血が出るの?>

鼻の奥の方の粘膜に“キーゼルバツハの部位(図中矢印)”という静脈叢(じょうみやくそう)があります。

ここは元々もろくて、ちょっとしたことで出血してしまいます。

風邪をひけば鼻粘膜が荒れます。鼻いじりをすれば機械的刺激で、すぐに出血してしまいます。鼻の穴から出れば“鼻血”になります。



<鼻血が出たらどうすればいいの?>

半坐位になって、鼻の付け根(メガネがのっかる)を、親指と人差指でギュッと押し付けるようにつまんで下さい。5-10 分間押さえれば、まず止まります。10 分以内に止血できるものは、心配ありません。

鼻血が出た時や鼻血を止める時には、あごを軽くひいて、顔をうつむきかげんにしてください。鼻血が外に流れるのを防ぐために、顔を上に向けると、鼻血がのどにまわってむせてしまいます。

鼻の穴にティッシュペーパーを詰めただけでは、止血は期待できません。流れ出た鼻血を吸わせるためにティッシュペーパーを詰めてもかまいませんが、止血には鼻の付け根を抑える必要があります。

ティッシュペーパーに染み込むと出血量が多いように見えますが、実際には少量なので心配ありません。



<どんな時に心配なの?>

(1)鼻血のほかに手足などに出血斑、紫斑のある場合には、特発性血小板減少性紫斑病などの病気が隠れている可能性があるため血液検査が必要です。ただし、実際に病気があることはまれです。

(2)鼻血が頻回でかつ出血量がものすごく多い場合には、鉄欠乏性貧血を起こすことがありますので、血液検査が必要です。ただし、実際に鼻血で貧血が起こることはまれです。